



vol.95

2024年  
11月30日  
発行

日本山岳会

# 「高尾の森」

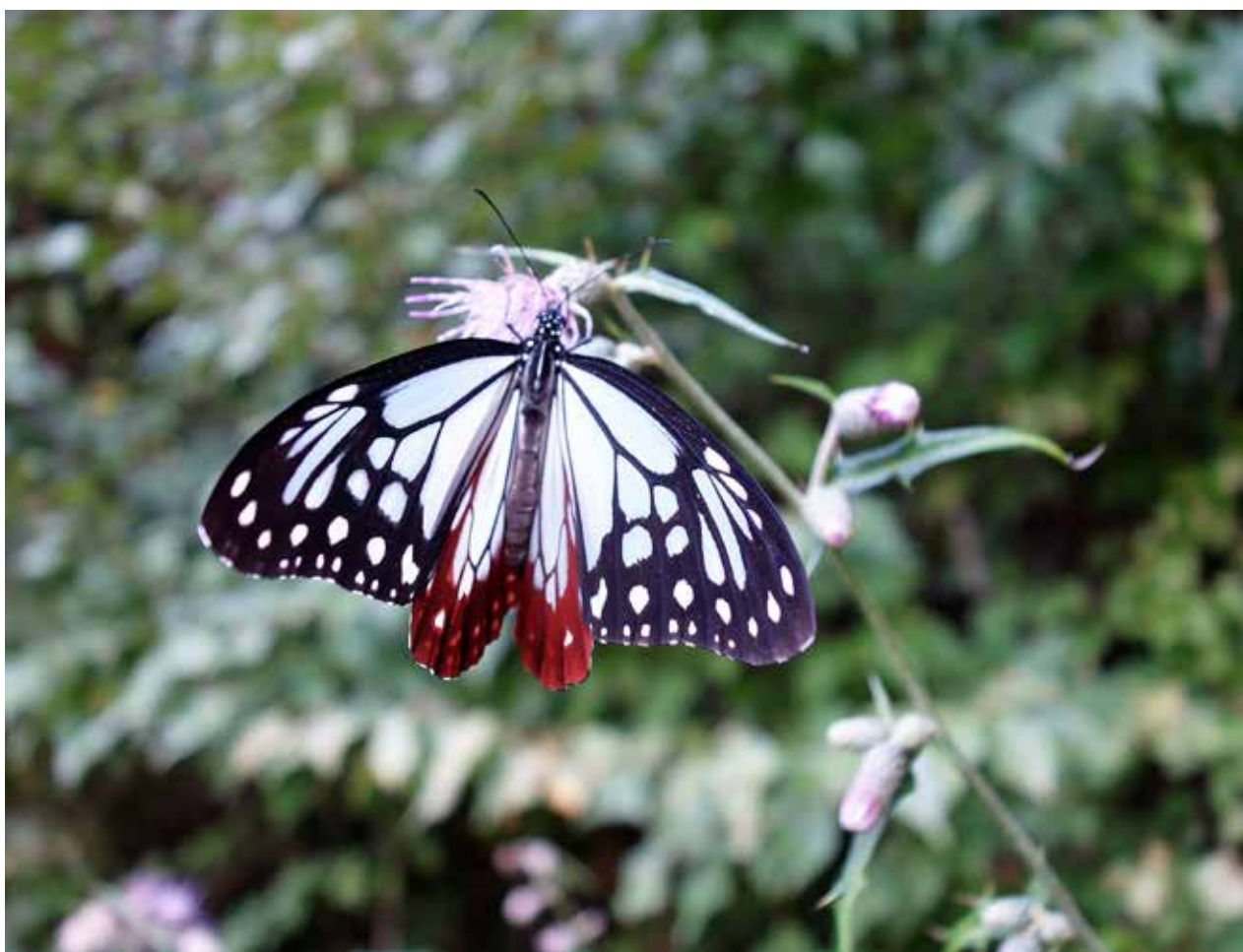


通信

— 広針混交の豊かな森づくり活動 —

会員数：個人169名 法人11社  
(2024年10月末現在)

今年は東京では観測史上最も遅い夏日を記録。  
そんな年でも10月になると今年度の植栽地近くに  
いつものようにアサギマダラがやってきました。季節は確実に変わってゆきます。



2024.10.12 滝ノ沢林道にて



## スポンタケの幼菌

竹やぶや林縁部などに群生する大型菌。  
直径が3～5cmの白色球形で、  
弾力がありその基部には白色の根状菌糸束をもつ。  
中にはゼリー状物体に包まれて成熟した胞子が粘液化して  
塊になった黒いグレバの傘が入っている。  
成熟後は幼菌の頂部から傘を持つ托が伸長する。  
絵：横川 信由

<http://JACtakao.net>



# 高尾の森のクマの生息状況 2024年10月

動物調査班 山崎勇

高尾の森の動物カメラにクマの映像が初めて映ったのは2016年7月でした。これまでに33件のクマの映像データが集まり、データの分析をしてみました。年度別推移、月別、時間帯、場所、性別、年齢などについて述べます。



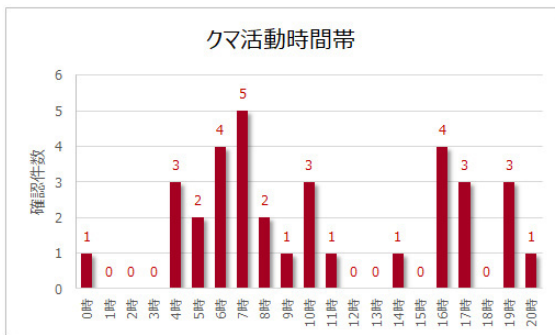
## ①年度別推移

2018年以降、年々増加傾向が見られます。2023年は映像件数は減りましたが、爪痕・糞・足跡・食痕などが多く確認されています。



## ②月別確認状況

当初7月（クマの繁殖期）に多く現れていましたが、現在は5月から8月と現れる期間が長くなってます。東京都のクマ情報によると八王子地区では通年活動しています。



## ③活動時間帯

4時～8時、16時～19時の時間帯の活動が多く、早朝、夕方は要注意です。

## ④場所別確認状況

板当 201 林班エリア …………… 14 件  
 巨木の森～2001 年度植栽地エリア … 15 件  
 2008 年植樹地エリア …………… 5 件

## ⑤性別、年齢 (鑑定：高尾ビジターセンター 中野太九朗解説員)

### 雄・雌の確認

2022年6月2001年度植栽地で雌グマを追う雄グマの映像を確認

### 子グマの確認状況

2022年8月親子（子グマは1歳半）  
 2022年8月子グマ（1歳半）  
 2024年8月子グマ（1歳半）  
 2024年8月親子（子グマは半歳）（2001年度植栽地エリアで確認）  
 これらの確認状況から、高尾の森付近でクマの繁殖活動が始まっていることがわかります。

クマは力が強く、木登り、泳ぎ、走るのも早く、子連れの時は特に狂暴になります。また嗅覚が発達していて人家付近に現れて果実やクルミなども狙われます。小仏集落のお宅で2022年秋に家の裏にクルミを袋に入れて置いていたところ、2日間に渡りクマが現れたそうです。また、クマは落葉広葉樹の森が大好きです。我々が植樹した森が成長し、ドングリ・栗・クルミ・桜の実などが餌となるでしょう。

山で活動する時（特にクマの活動時間帯）は、こちらの存在をクマに知らせる様にしてきましょう。



クマについての注意事項は、「高尾の森」通信 81 号（2021 年 5 月）をご参照ください。





# イベント 盛りだくさん!

清新第一小 恒例夏のキャンプ

恒例の一大キャンプイベント。今年は台風10号接近予報で危ぶまれましたが、気温35℃という夏真っ只中で行われました。参加者はお父さんと子供合わせて約60名! さて、結果はいかに?  
 本山榮子

## 1日目 8/24(土)

日影沢キャンプ場に8:30集合。点呼・体操の後、早速高尾の森スタッフと共に一丁平に向けてハイキング出発。最初は林道進み、途中から山へ入り数分歩くと「あっ草のいい匂い!」素晴らしい感動の一言! 「ヤッホー」と叫びながら10時頃には目的地に到着! しかし展望台での眺望は残念ながら真っ白な霧で何も見えませんでした。



ハイキング

下山は同じ道を下ります。林道に出るとまだ12時だ!

もう一回登って来られるよ!』と子供たちは元気いっぱいでした。前回参加した子は得意げに経験談を話しながら無事キャンプ場に到着。冷えたラムネを各々貰い駆け回り始めました。お父さん、スタッフはテント設営、一段落したところで乾杯! 一休み。それから恒例のスイカ割りとカレーライス作り。夜はテントでの寝床、自然を感じながらゆっくり楽しい夢を見ることが出来たでしょうか?



カレーライス作り



## 2日目 8/25(日)



そうめんを茹でるお父さんたち

2日目は小下沢の沢登りです。沢に入り10分もすると「寒い、手が冷たい」と言っていた子もすぐ慣れて歩き始めました。気持ちよさそうに「滝の音好きだあ!」と腰まで浸かって大きな石をよじ登りながら進んで行く子達、恐る恐るゆっくり浅い方を探して歩く子、石の下にカニがいるよ〜と立ち止まる子、休憩を交えながらみんな無事終点の丸太橋に到着しました。



そしてお待ちかね、昼の流しそうめん。今年は沢向うにセッティングされ涼しい木陰で何杯食べたよ〜と競い合い、大人達は立ち食いそうめんだったりみんな楽しい美味しい昼食でした。

お腹がいっぱいになると、今度は人気の「丸太切り」。初めての子は真剣にスタッフの言う通りにノコギリを引き、切り終えた木片を宝物の様に大事に手で撫でている子、また何回も挑戦する子もいて、本当に楽しそうでした。そして、今回は高尾の森のものづくり班が作ったカラクリおもちゃ「パタパタ」が全員にプレゼントされました。大人も子供も不思議そうにカラクリを何度も何度も見ながら考えて遊んで大喜びでした。



パタパタ

この2日間肌で味わった自然の中での体験、高尾の自然に触れていつか大人になった時ふと思い出して高尾の森づくりの担い手になってくれたら……なんと嬉しい事でしょう。



# 8月活動日記

● 8月は一年で一番過酷な月。真夏日の晴天の中でも作業はパワー全開ッ！下山後は沢で水浴びしてさっぱり！これ毎年恒例です。

● A,B 班は共同で板当の 2025 年度春の植栽地の除伐、C 班は 2022 年度植栽地のツル切・除伐を行いました。



B 班出発前



C 班出発前



作業直前ミーティング



今からこの藪を切り開きます

休憩はやはり木陰で、

ホッ！



藪と格闘中の人達は？



代表・事務局長・リーダー・・・



この会では  
**偉い人達**が  
良く働きます!?



作業終了後の **お楽しみ**♪



## もくじ

高尾の森のクマの生息状況	02
清新第一小 恒例夏のキャンプ	03
8月活動日記	04
9月活動日記	05
10月活動日記	06
高尾の森に棲む昆虫たち	07
刈払機・チェーンソー講習報告	08
小下沢丸太橋修復工事	10
富士電機コミュフェス出店	10
森の研修報告	11
新会員紹介	11
事務局からのお知らせ	12



# 9月活動日記



その人、  
前にいると危ないですよ



- 9月になっても真夏日の連続! 作業場に到着するまでに汗ビチョビチョ。そんな中で板当の除伐作業が続きます。
- ベース小屋入口のウッドデッキを老朽化により新たに作り直すことになり、一大プロジェクト? がスタート。結果は次号会報誌で。乞うご期待!

暑くて日向に出たくない人たち



炎天下は  
暑い〜。。

とりやああッー!



ウッドデッキ作り直し、  
まずは調査から



作業終了後の  
水分とエネルギー補給!





# 10月活動日記

新しいストーブ設置完了



壊れたストーブ、  
**お疲れ様**でした



- ベース小屋を長年暖めてきた薪ストーブが壊れ、新しいものと交換しました。これで冬は快適に過ごせそうです。
- 既存のウッドデッキ解体が始まり、その廃材を利用して狐塚峠へ上る登山道の補修が行われました。C班、Good job!



ウッドデッキ解体  
登山道、  
歩きやすくなりました

**Nice!**



出発前のグループミーティング(B班)



新人さんに鎌の研ぎ方を指導



高尾山一丁平園地の保全作業

季節と  
共に  
お楽しみも変化





# 高尾の森に棲む昆虫たち

連載 第2回



今回は高尾の森に棲む昆虫たちの餌についてお話しします。昆虫たちは普段どのようなものを食べているのでしょうか。一般的に昆虫の食性は次の4つのタイプに大きく分けられています。

(1) 植物を食べるもの(植食性)、(2) 他の動物を食べるもの(肉食性)、(3) 動物の死骸や糞、植物の落葉や腐植を食べるもの(腐食性)、(4) なんでも食べるもの(雑食性)。中には、成虫になると餌をとらないものもあります。そこで今回は昆虫の食べ物に着目してご紹介していきます。昆虫の食べ物(餌)を知ることで虫を探す際のヒントになったり、周りの環境を知る手がかりになったり、また思わぬ発見につながることもあります。

岡西宏之



## イチモンジチョウ

チョウ目タテハチョウ科

- 体長：45～55mm
- 出現時期：5～9月

植食性

幼虫はスイカズラやウツギなどの葉を食べる。成虫は花の蜜を吸う。名前の通り、一文字の翅(はね)の模様が特徴的なチョウである。



## ヤマトフキバッタ

バッタ目バッタ科

- 体長：25～30mm
- 出現時期：7～10月

植食性

フキやクズを餌として食べている為、このような植物上や付近でよくみられる。背中には短い翅があるが、翅を使って飛ぶことはできない。



## キボシカミキリ

コウチュウ目カミキリムシ科

- 体長：15～30mm
- 出現時期：5～12月

植食性

幼虫はクワイイチジクなどの木の中で生活し、木を食べながら成長する。成虫は葉を食べる。前翅には大小の黄色紋が散らばり、触角が体長より長い。



## オオトビサシガメ

カメムシ目サシガメ科

- 体長：20～27mm
- 出現時期：4～11月

肉食性

※写真は幼虫

一生を通じて昆虫類を食べる。ストロー状の口で昆虫の体液を吸う。植物の葉の上で獲物を待ち伏せている。



## クロヒゲカワゲラ

カワゲラ目カワゲラ科

- 体長：13～21mm
- 出現時期：7～9月

肉食性(幼虫)

幼虫は川の中で生活し、他の昆虫類を食べて成長する。成虫になると口はあるが、基本的に水分だけを摂取し、餌は食べない。本種と似た種にフタツメカワゲラがいる。



## キマワリ

コウチュウ目ゴミムシダマシ科

- 体長：16～20mm
- 出現時期：5～9月

腐食性

一生を通じて朽ちた木を餌とする為、立ち枯れの木や倒木などに集まる。日中は樹皮の上を徘徊している為、木の表面を眺めると比較的見つけやすい。

参考文献 梶 真史 . 2013, 日本の昆虫 1400 ①チョウ・バッタ・セミ . 文一総合出版 . 320pp.  
梶 真史 . 2013, 日本の昆虫 1400 ②トンボ・コウチュウ・ハチ . 文一総合出版 . 320pp.  
丸山博紀・花田裕子 . 2016, 原色 川虫図鑑(成虫編) . 全国農村教育協会 . 488pp.



# 刈払機・チェーンソー講習報告

ハチ・救急 対策研修担当 森中大晴

今年度の刈払機とチェーンソーの講習会を実施いたしました。

7月20日に行われた刈払機講習には、2名の参加者が集まりました。炎天下の中での実習となりましたが、安全な操作方法や注意点などを丁寧に指導し、実技練習も実施しました。

チェーンソー講習は9月7,8,15日の3日間にわたり開催。5名の参加者とともに、1日目の学科講座では安全な取り扱い方やメンテナンス方法を学びました。2日目からは、実際にチェーンソーに触れて基礎的な操作を習得し、最終日には現場での応用実習を行いました。参加者全員が、それぞれの講習会を無事に修了いたしました。

来年度も企画いたしますので、ぜひご参加ください。講師の皆様、ご協力ありがとうございました。

## 奥が深いけど、 使いこなせると楽しいです

菅野滉希

この度は刈払機講習に参加させていただきました。午前中は座学、午後は実習とい

う構成で、座学では刈払機の取り扱いだけでなく災害事例や振動障害、法令と設置の背景などを学び、実習では燃料の混合から実際にベース近くの下草刈りまで行いました。

初めは歯ブラシと電動歯ブラシの違いくらいに思っていました。講習を通じて刈払機の波さ、奥深さを知りました。刈払機は実際に手に持つと少し恐怖があり、操作もうまく刈れないうちはもどかしさを感じましたが、次第にコツを掴み気持ちよく刈ると機械班の方々に褒められました。今後活動の中で継続的に活用していきたいと思っています。とても楽しかったので皆さんも思い切って参加してみたいかでしょうか？

講習会に携わっていただいた皆さん、ありがとうございました！

## 刈払機講習 ◆ 参加者の声

### この会の講習会、 お奨めです

大島徹

この会で活動を始めてから15年、元々この会では定例作業で体を酷使すること目的としていて、機械作業には近づかないようにしていたのですが、この春から高齢者の仲間入りをし、この辺で新たなスキルを身に付け今後の活動領域の幅を広げようという思いから講習会に参加しました。

まず座学では立派なテキストに基づき、関係法令から刈払機の知識などなど。予想外の本格的な講義には驚きました。災害事例では結構怖あ〜い話があったりして、刈払機は正しく使わないとチェーンソーより危険だそうです。そして実技では受講生の倍以上の講師連から手取り足取りのご指導をいただきました。この会の講習会は世間で行われている講習会より各段に中身が濃い〜とか？とにかくお得な講習会。「体を酷使」なんて言っていないで早めの受講をお奨めします。





## チェーンソー講習 ◇参加者の声

### 新たな世界が広がりました

青柳謙一



入会6年目の青柳です。以前、手作業で伐倒をしている時に、機械班の皆さんがチェーンソーを持って現れて、バツバツと伐倒していく姿を見て憧れがありました。ただ、まずは手作業による技術、経験を積んでからと考えていましたが、技術力を高められればと思い今回参加しました。講義では、なぜこのような行動が必要になったのかといった経緯と理由を丁寧に教えていただきました。また、テキストに載っていないような裏話も多く聞かせていただき、楽しく講義を受けることができました。実習ではノコでの手作業に比べて、思った以上の速さで切れていくので驚きました。簡単に切れるがゆえ、操作を間違えると大事故に繋がり、安全確保が第一であることが分かりました。また世界が広がりました。講師の皆様ありがとうございました。

### 森に光を！ 指導に愛を！

藤島英一



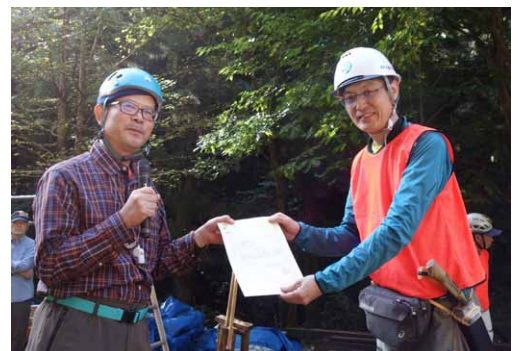
メリメリッ…。あっ、掛かり木だ。すみません(-\_-) …どうして自分は失敗したのだろう？ 林業は現代の最も災害率が高い産業であり、あちこちにリスクが潜んでいる。ボランティアもプロと同じ災害リスクがあるそうだ。チェーンソー研修では基本である安全を中心に学んだ。

◇座学編：法令から伐倒方法や事故事例、ツルの重要性

◇実践編：身体（特に左脚）の守り方、ツルの残し方と逃げ方

これからの実践では、安全の土台に経験を積み上げて作業精度を高めていきたい。一步一步前進だ～。メリッ、メリメリッ……ダーン。意図通りに伐倒し森に光が戻ってきた。光が届くと残された針葉樹も更に成長でき、多様な生き物が戻ってくる。気分爽快だ～！！（妄想）

褒められて育つタイプ（笑）です。これからも、やさしくご指導願いま～す）^^（



## 高い技術の必要性を痛感

猪股和子



伐木作業で、適切に定めた伐倒方向に正確に安全に伐倒することの大切さ、そのための準備作業や適切な受け口切り、追い口切り、つるを機能させる事の必要性など、身をもって体験する事となりました。

伐倒する材の受け口の下切りが水平でなく、かつ、つるの左右の幅が異なっていたため、選定した伐倒方向からずれて、かかり木になってしまいました。その処理のために、かかり木の枝にロープをひっかける、また、安全な方向に倒すために安全な位置からひっぱるために滑車やロープや人力にどれほど時間と気遣いが必要だったか。チェーンソーを正確に安全に使う技術の必要性を痛感し、追い口が浮きはじめた時の倒れる木の速さには驚き、伐木作業は危険と隣り合わせを肝に銘じた講習でした。何とかして活動で役立つ様になりたいです。





# 自然の力、恐るべし!

## 小下沢丸太橋修復工事 組澤勝

昨年11月に架け替えたばかりのザリクボ登山道への丸太橋、これまで台風などで何度も被害に遭ってきたことから災害に耐えられるように工夫を重ねてきましたが、8月末に発生した超ノロノロ台風10号の影響で、台風から離れた関東も大雨に見舞われ、丸太橋の基礎の石が流され、渡るにはチョット危険な状態になってしまいました。

この橋は景信山への登山者が多く利用するので早急に修復する必要があり、そのため急きょ9月14日の定例作業日に各作業班等からメンバーを募り、土木工事に精通した川久保さん・松隈さんの指導のもと橋の修復に取り掛かりました。



流された基礎石

作業は大きな石を運ぶこともあり力勝負! さすがに集まったメンバーは精鋭揃いで、午前中には作業が完了し、登山者や会員が安全に橋を渡ることが出来るようになりました。

作業が予想外に早く終了したため、周辺および水場の整備も行い、無事丸太橋修復工事が完了しました。



修復完了

## 今年も大盛況! 富士電機コミュフェス出店

功刀正仁

当会の法人会員である富士電機東京工場で夏恒例のコミュニティフェスティバル(納涼祭)が8月23日に開催され、今年も模擬店を出店させていただいた。

出店の品はものづくり班が手作りした木工細工で、竹とんぼ、バードコール、からくりおもちゃパタパタ、パズルまた箸、コースター等の生活用品などなど。これらの木工細工品を通じて木材の魅力と当会「森づくり」をPR、そしてノコギリやドリルを使っの竹ポックリ作りを演じた。フェスティバルは従業員の家族や近隣住民などで数千人?広い会社構内も大賑わい! 当会の模擬店も多くのお客さんに興味を持っていただき大盛況! おかげで当会員は大忙しでした。

出店品では、多くの子供たちがパズルに夢中になったり、また竹とんぼ、バードコール、パタパタなど動く物、音の出る物が人気で、販売数も多く新たな作品作りの励みになった。何よりも「森づくり」、木々の魅力を伝えることが出来たのではと感じた。

来年も出店出来ることを楽しみにしています。会員の皆様、富士電機所属当会員の皆様のご協力ありがとうございました。楽しかった!!







ハチ・救急 対策研修担当  
森中大晴

## 森の研修報告 + 応急救護 +

10月6日、応急救護講座を5名の参加で開催しました。心肺蘇生法や止血法など、活動中に必要となる応急処置を学びました。包帯法や搬送法の実技練習も取り入れ、より実践的な内容となりました。参加者全員が、無事に講座を修了し、満足度も高かったようです。万が一の事態に備え、応急処置の知識と技術を身につける良い機会となりました。来年度も、さらに充実した内容で実施予定です。ぜひご参加ください。



東蒼生です

## 新 会員紹介

稲垣和也です



### 広葉樹の森への 転換に賛同し

初めまして。東 蒼生(ヒガシ アオイ)と申します。今夏、入会いたしました。入会のきっかけは、まず自分は今年の3月まで環境保全の専門学校に在籍していました。その学校で草刈りなど高尾の森づくりのような活動を行っていたものですから、卒業後も継続してそういった活動を行いたいと思い、元々日本山岳会に所属していたこともあり、当会の存在は知っていたので入会を決めました。また、専門学校にて人工林、すなわちスギ・ヒノキ林の問題や課題について勉強したため、当会の人工林から広葉樹の森への転換という目的に大いに賛同したというのも入会の理由です。あとは、山に登る体力がつけばいいかなとも思っています。

当会の活動を通じて、ベテランの皆様から、山仕事の技術や安全管理を学べればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

### 地球温暖化を憂慮して!

大学ワングル時代の同期の大塚代表及び伊藤さんのご紹介により昨年法人会員として入会し、本年6月末、法人会員のトヨタカスタマイジング&ディベロップメントを退任いたしましたので、この度改めて個人会員として入会させていただきました。

遡ること50年ほど前の高校2年の時、隣に座った同級生に誘われて鈴鹿の山登りに行ってから山に魅せられ、その後大学ではワングル部に入部、トヨタ入社後も山登りを継続してきました。

先日北アルプスの白馬岳に行きましたが、長年登山者に人気の大雪渓を登るルートが雪渓のクレバスが危険とこのことで通行禁止となっており、地球温暖化を憂慮しています。この会の入会は、地球温暖化防止に微力ながら貢献したく入会しました。

現在、仕事は東京と仙台、自宅は愛知、というなか少しでも時間を作って定例作業にも参加させていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。

日吉辰也です



### 多様な動植物に触れられるのは魅力的

東京板橋区で生まれ、埼玉県川越市で小学校から高校卒業まで育ちました。2020年に八王子市に引っ越し、現在主に3Dプリンターやレーザーカッターを使用した事業を行っています。目立つのは3Dプリンターやレーザーカッターですが、他の工具も駆使してものづくりをしています。

この会に参加したのは、トリマーという工具を購入したことがきっかけです。近くで工具を使える場所、工具を使える人を探しているうちに「高尾の森づくりの会」にたどり着きました。現時点では、まだトリマーを満足に使いこなせておらず、勉強を続けています。森づくりや山づくりについてはまだ初心者ですが、山登りでは先輩方の動きを模倣することで、楽しんで登れるようになりました。斜面での作業は大変ですが、多様な動植物に触れられるのは魅力的です。不慣れな点も多いですが、どうぞよろしく願いいたします。



活動記録

- 8/10 定例作業 (会員45名)
- 8/23 富士電機コミュニティフェスティバル (15名)
- 8/24,25 清新第一小学校お父さんの会キャンプ  
(父子62名、会員延べ37名)
- 9/7,8,15 チェーンソー特別講習①②③  
(受講者5名、講師・他6名)
- 9/14 定例作業 (会員56名、法人1名、体験1名)
- 10/6 森の研修「応急救護」(受講者5名、講師1名)
- 10/12 定例作業 (会員56名、法人12名)
- 10/22 一丁平園地整備 (6名)
- 10/27,28 三宅島緑化再生プロジェクト (延べ18名)
- 11/2 森の研修「小下沢の樹木たち」(雨のため中止)

活動実績と予定

- 11/2-4 高尾599ミュージアム  
「秋のTAKAO599祭 森の学校」
- 11/5,6 美林見学会「アフアの森」  
(長野県上水内郡信濃町)
- 11/9 定例作業
- 11/16-24 高尾599ミュージアム  
「高尾の森と生き物たち展」
- 11/23 紅葉鑑賞会
- 12/14 定例作業、忘年会
- 1/11 定例作業

会員動向

入会：ようこそ

大澤寛之さん、福田洋さん

退会：お疲れ様でした

伊藤藍子さん、平林竹一郎さん、  
萬國谷慶子さん

早いもので、  
今年も  
もうすぐ終わり

忘年会の  
お知らせ

- 日時  
12月14日(土) 定例作業終了後 16:00 ~ 18:00
- 場所  
「バグダッドカフェ / モータウン (MOTOWN)」  
(京王八王子駅 中央口徒歩約1分)
- 会費  
3,000円

たくさんのご参加を  
お待ちしております。



編集後記



「刈払機・チェーンソー講習報告」に参加記を書きましたが、入会してから15年も経過して初めて刈払機とチェーンソーの講習を受けました。元々、道具を使うのは嫌いではなかったのですが、これらを使えるようになるのはやはり楽しいですね。機会があればどんどん使おうと思います。危険リスクは上がりますが、そこは基本に忠実に、安全第一で！[大島徹]

幹事会報告

(詳細はホームページ会員専用ページを参照ください)

◆ 8月

協議事項 小下沢国有林「219は、ろ林小班」の標準地調査及び「218と林小班」の扱い、2024年度弊会の役割分担、他

報告事項 衛星電話のスターリンク化の検討、助成金関連、日本山岳会/子供と登山委員会の申出対応、他

◆ 9月

協議事項 小下沢国有林 218,219 林班収穫調査結果、紅葉鑑賞会について、他

報告事項 衛星電話の検討、研修プログラムの計画と進捗、高尾 599 ミュージアム展示協力、他

◆ 10月

協議事項 紅葉鑑賞会の実施要綱、他

報告事項 活動状況・官庁対応・今後の予定、美林見学会予定、研修プログラムの計画と進捗報道機関対応、他

